

平成25年9月19日

「第10回文化庁映画週間」の開催

文化庁では、魅力ある総合芸術であり、また、海外への日本文化発信の有効な手段である日本映画の振興に、様々な観点から取り組んでいます。その一環として、このたび10回目となる「文化庁映画週間」を東京国際映画祭期間中に開催します。文化庁映画週間では、優れた文化記録映画や永年にわたり日本映画を支えてこられた方々を顕彰するとともに、記念上映会やシンポジウムなどを実施し、あらゆる立場の人々が映画を通じて集う場を提供します。

1. 会 期

平成25年10月17日（木）～10月24日（木）

2. 場 所

六本木ヒルズ、シネマト六本木（港区）

3. 主催等

主催：文化庁

共催：公益財団法人ユニジャパン

4. 実施事業の概要

次頁以降参照

文化庁文化部芸術文化課

課 長 舟 橋 徹 （内2822）

主任調査官 佐 伯 知 紀 （内2829）

メディア芸術振興係 大 槻 一 平 （内2083）

【代表】03-5253-4111

【直通】03-6734-2083

文化庁映画週間URL <http://bunka-cho-filmweek.jp/>

実施事業の概要

平成25年度 文化庁映画賞贈呈式及び受賞記念上映会

(主催／文化庁)

【贈呈式】

優れた文化記録映画作品を顕彰する文化記録映画部門、永年にわたり日本映画を支えてこられた方々を顕彰する映画功労部門の贈呈式を実施します。

日程：10月17日（木）18：00～

会場：六本木ヒルズ グランドハイアット東京 3階

【受賞記念上映会】

文化記録映画部門受賞作品を上映するとともに、各映画上映後に当該映画に関わった方々をお迎えしてのティーチインも行います。

日程：10月20日（日）11：00～

会場：シネマート六本木 スクリーン1

文化記録映画優秀賞

11：00～ 「異国に生きる 日本の中のビルマ人」

14：00～ 「福島 生きものの記録 シリーズ 1 ～被曝～」

文化記録映画大賞

16：40～ 「先祖になる」

シンポジウム－MOVIE CAMPUS－

(主催：文化庁／共催：公益財団法人ユニジャパン)

日程：10月22日（火）13：30～（予定）

会場：六本木アカデミーヒルズ49 タワーホール

映画製作や上映活動における新しい取組や映画文化の旬を、アカデミックな視点で紹介するシンポジウムです。映画業界が今求めているもの、取り組むべき課題などについて、映画業界人、文化人などゲストを招いてディスカッションを行います。

■プログラム

[第一部] 『時代劇へようこそ～先ず、粋（いき）に行きましょう』

「時代劇の面白さを、若い世代にどう伝えるか？」をテーマに、多彩なゲストを招き、「時代劇映画の愉しみ」について語り合います。また、今回の文化庁映画賞映画功労部門受賞者でもある活動写真弁士、澤登翠さんによる活弁も実演いたします。

<ゲスト>

小泉堯史（映画監督）／黒澤和子（衣裳デザイナー）／能村庸一（プロデューサー）
／澤登 翠（活動写真弁士）ほか

[第二部] 『わが家を名画座に～いい映画の見つけ方教えます』

「観たい映画を、どこで、どう観るのか？」をテーマに、現在の視聴環境を支える企業からゲストを招いて、現状を分析し未来の動向について考えていきます。

<ゲスト>

河井真也（日本映画衛星放送株式会社、映画プロデューサー）／勝江正隆（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）／渡邊 健（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、株式会社T-MEDIAホールディングス）ほか

上映会『時代劇へようこそ～先ず粋（いき）に行きましょう』

（主催：文化庁／共催：公益財団法人ユニジャパン）

日程：10月19日（土）、24日（木） ※上映作品及び時間は調整中

会場：シネマート六本木 スクリーン4

シンポジウムで取り上げたテーマでもある時代劇映画について、複数の作品が鑑賞できる上映会を行います。

なお、各イベントの詳細は決まり次第、こちらに更新してまいります。

<http://www.bunka-cho-filmweek.jp>

(参考) 第26回 東京国際映画祭開催概要

期間：平成25年10月17日(木)～10月25日(金) 9日間

会場：六本木ヒルズ、シネマト六本木等

公式サイト：<http://tiff.yahoo.co.jp/2013/jp/>

企画内容に関する詳細お問い合わせ先

公益財団法人ユニジャパン E-MAIL bfw2013@unijapan.org